

2023年度自己評価項目

2023年度 自己評価チェックリスト

		十分 できて いる	できて いる	努力が 必要
1 保育環境				
1	楽しい雰囲気の中で一人ひとりが安心して遊びこめる環境づくりを心がけている。			
2	季節の変化に応じた環境構成を行っている。			
3	子どもの動線、視線に配慮して遊具や用具を配置している。			
4	発達に合ったおもちゃや、遊具を用意している。			
5	保育室の清潔や換気、採光、温度、湿度などに気を付けている。			
6	活動に必要な遊具や用具、素材などを質、数量などを配慮して用意している。			
7	翌日の保育がスムーズに始められるよう、前日までに全ての設定を整えている。			
8	不審者の侵入や登降園時の安全に十分配慮している。			
チェック 合計数				

2 子どもとの関わり

9	一人ひとりの発達を理解してその子の持つ個性や可能性を大切に育てるように心がけている。			
10	一人ひとりのありのままの姿を受け入れるようにしている。			
11	朝の登園時は特に視診を大切に子ども体調が悪くないかを確認している。			
12	子どもが自ら考えたり、工夫したり出来るような見守り方をしている。			
13	年齢に応じた分かりやすく、聞き取りやすい語りかけをしている。			
14	適切な声の大きさで接している。			
15	子どもの話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている。			
16	子ども同士のトラブルに対し適切な対応をすると共に、友達の良さや大切さに気付くような対応をしている。			
17	子どものことについて、常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。			
18	他のクラスや異年齢の子どもたちと進んで関わりを持つことを大切にしている。			
チェック 合計数				

3 保護者との関わり

19	全ての保護者に対して、親しみを込めたあいさつや会話をするよう心がけている。			
20	正しい日本語、丁寧な言葉や敬語を用いている。			
21	保護者が要望や相談などを話しやすいように誠実に対応している。			
22	保護者からの意見やクレームには安易に対応せず、園長や主任に報告、相談して対処方法を考えている。			
23	体調不良やケガなどの緊急連絡は相手方の状況に配慮した上で、迅速に、かつ分かりやすく対応するよう心がけている。			
24	送迎時に直接話をしたり、電話や連絡帳などで、日常の子どもの様子を伝達することを大切にしている。			
25	必要ならば個人面談の機会を設け、子どもの姿や育ちの過程を伝え合い、保育への理解を得るよう努めている。			
チェック 合計数				

2023年度自己評価項目

		十分 できて いる	できて いる	努力が 必要
4 保育者としての資質、在り方				
26	子どものささやかな成長が理解出来てそれを喜ぶことが出来る。			
27	子どもと一緒に日々の生活を創りだすことを楽しんでいる。			
28	子どもや保護者との対応には公平さを欠かないようにしている。			
29	自分の保育の評価・反省を怠らず、次の保育と計画に活かせるように努力している。			
30	保育雑誌や専門書などを読んだりして、保育の情報や知識を集めている。			
31	園や子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある。			
32	園長や主任、同僚を尊重すると共に、職員全員でひとつのチームであることを意識している。			
33	子どものこと、クラスのことなどで必要なことは園長、主任に連絡・報告・相談している。			
34	職務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。			
35	締切のある仕事や提出物は締め切り日をきちんと守っている。			
36	担当する仕事の計画・実行・反省を最後まで責任をもって行っている。			
37	園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいように片付けている。			
38	自らの健康や身だしなみ(服装・髪形)に気を配り、清潔感があるように心がけている。			
39	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。			
40	研修などで得た知識を日々の保育に活かしたり、園全体の向上に役立てられるよう伝達している。			
チェック 合計数				

5 本園の取り組むべき課題（2023年度課題）

41	【日々の保育の記録の取り方、活かし方を工夫し活用につなげる】引き続き「日々の保育の振り返りを継続していく中で出てきた課題などを、学年や園全体ですぐに共有できる記録の取り方、活かし方、更にはそれを次年度に活かしていくことを目指す。			
42	【保護者と園が連携し、子どもを主体とした行事を実施する】これまでの行事を見直し、子どもが主体的に取り組める行事の在り方を保育者間で意見を出し合いながら作り上げていく。また、園が目指す行事の目的を保護者にもわかりやすく伝えていく。			
43	【今年度の研究課題である食育や食具の使い方について研究を深め保護者と共有する】子どもたちの食への関心を高めると共に、年齢に応じた食具の使い方の指導を通して、食育教育の在り方を研究していく。また、その過程で得た知識を保護者にも伝え、園と保護者と連携して育てていく。			
44	【保育教諭としての資質向上に努める（個人目標と具体的計画）】自らの保育を振り返り、適切な個人目標を立て具体的計画のもと、よりよい保育の達成に向けての取り組みが出来ている。			
チェック 合計数				